



①日本エコミュージアム研究会全国大会 in 伊根 平成25年10月



②日本エコミュージアム研究会全国大会 in 勝山 平成26年10月



③地域資源を生かしたまちづくりを考えよう 平成28年1月



④地域資源を活かしたまちづくりを考える研修会「ジオガシ旅行団」 平成28年12月



⑤鹿谷雪まつり雪像づくり 平成29年1月



⑥白山平泉寺開山1300年記念事業 平成29年7月

## 勝山市

# エコミュージアムニュース 2025



⑦15分研修「ドローン撮影について」 平成30年7月



⑧新春座談会「エコビジネスを考える」 令和2年1月



⑨ジオツアー 野向ジオサイトめぐり (八反滝) 令和2年10月



⑩オンライン先進地視察「萩ジオパーク」 令和3年10月



⑪NPO法人秩父まるごと博物館 ZOOM交流会 令和4年3月



⑫「おもっしえまちにしよ」 令和4年11月



⑬わけあって勝山になりました 山とお城の物語 令和5年10月



⑭わけあって勝山になりました 野津又城編 令和6年4月



⑮わけあって勝山になりました 西光寺・保田城編 令和7年6月

## 令和7年度の取り組み

勝山市エコミュージアム協議会は、勝山市の豊かな自然環境と伝統文化を生かしたまちづくりの手法として、まち全体を屋根のない博物館とみなす「エコミュージアム構想」を推進するため、地区のまちづくり団体と市民団体などから構成された団体です。令和7年度において各構成団体の取り組みを紹介します。表紙の写真はここ12年間の活動を抜粋して載せました。

## 1-1 勝山地区まちづくり委員会

### 第8回 子どもたちの灯り

毎年夏、鎮魂を込めて灯りをともします。行燈には子どもたちの夢・願い・感謝の気持ちが描かれ、見る人の心を癒します。また、同日に開催されている地区夏まつりの盆踊り会場の賑わい創出に繋げています。



## 1-2 NPO 法人まちづくりのむきの会



### 平泉寺御開帳記念お弁当

春前から、勝山商工会議所の提案、指導助言を受けながら、数回にわたる田中佳子フードディレクターと厨房関係者の打合せを経て、5月23日～25日の平泉寺御開帳記念お弁当は無事に完売することができました。地元の食材を生かしたお弁当やお惣菜が消費者から求められていますが、作り手側からも地元の良さの発見に繋がり、それが地域や人の繋がりに広がり、人々の健康づくりや生きがいに発展していくことを考えますと、この野向町の未来にも一筋の光が見えてくるように思います。

## 1-3 荒土町ふるさとづくり推進協議会



### 荒土小学校4年生の炭焼き体験

毎年実施している炭焼き体験ですが、6月18日に植樹と原木入れ、7月2日に炭出しを行いました。大変な3K作業（きつい、汚い、危険）ですが、子どもたちは汗まみれになりながらも頑張ってくれ、大人が励まされました。

## 1-4 遅羽町住民協議会

### バンビラインハイキングコース整備



4月5日カタクリの群生が美しいバンビラインハイキングコースの整備を行いました。開催予定だったカタクリまつりは悪天候のため中止となりましたが、年間を通してのコース整備で多くの方に楽しんで頂くことができました。

## 2-1 谷はやし込み保存会

### 谷はやし込み行列

北谷町谷の伝統行事「はやし込み行列」を8月15日に約35名の大学生の参加と地区出身者の協力を得て行いました。殿様行列により谷教会を出発、伊良神社で三番叟、お神楽を奉納、五穀豊穡、家内安全を祈願する庭掃きを先頭に道を清め、笛、太鼓、三味線に合わせゆっくり練り歩きました。



## 2-2 浄土寺川のホタルを守る会



### ホタルの観察会

当会は35年以上の間ホタルの保護活動を行っています。活動内容は、ホタルを通じて自然環境を考えてもらうために学校や地区などでの説明会、観察会の開催です。また、行政との連携も行っています。観察会は、まちづくりむろこの会とも連携して開催し、毎回多くの家族連れの方が楽しんでいきます。ここ数年は県外から大型バスでのホタルツアー客も増え、勝山のホタルと自然環境の素晴らしさを伝えています。今後もホタルとの共生を目指して、仲間や子ども達と活動を続け、できるだけ良い環境を次世代に繋げていきたいと思えます。

## 2-3 NPO法人せいきコミュニティスポーツクラブ

### ノルディック・ウォークで足元からの健康づくり



「ウェルビーイング」実現に向けて、ノルディック・ウォークは足元からの健康づくりに欠かせない運動です。そのために、ウォークで体を動かし、体と心を癒し、その力を通じて、市民一人一人の生活や心が豊かになることを目指しています。

## 2-4 (公社) 勝山青年会議所

### 勝山夜市



当日は会場周辺を電飾で彩り、後町の街並みを特別な空間へと演出しました。飲食ブースや縁日コーナー、ワークショップ、文化ステージなどを開催しました。あいにくの雨でしたが、650人の方にご来場いただき、楽しい笑い声や子供たちの元気な声が響き、勝山の夜に賑わいを創出することができました。

## 2-5 いのせポーノくらぶ

### いのせ文化祭出店



いのせ文化祭出店が恒例となり、地元の野菜やカラフル揚げなどの販売で外は盛り上がり好評でした。お客様との声かけ、会話が大変うれしく、中学生の応援でスマートボールも人気で、交流できたことがよかったです。

## 2-6 むろこ女性の会

### 子ども達に残したい勝山の風景&うた



全国的に減ってきている赤とんぼですが、勝山では、まだ舞い飛ぶ姿が見られます。この風景を子ども達に残していきたいと続けてきた活動を発表しました。その後、葵美妃様のハーブ演奏と共に童謡を全員で歌い、癒しの時間となりました。

## 2-7 本家勝山小笠原の会

### 本家勝山小笠原の会

私達は小笠原藩主の墓が祀られている開善寺を中心に活動しています。年に2、3回本堂や境内でイベントを行い、開善寺を通じ勝山を元気にと考えています。ダンスチームの発表も同時に行い、今年度は防災食作りにも挑戦しました。又、左義長まつりには休憩所として開放しています。



## 2-8 勝山市観光ガイドボランティアクラブ

### おもてなしの心で観光ガイド

平泉寺・越前大仏・七里壁・傘天井・石垣レリーフづくりなど体験を取り入れたツアーの企画。市外県外のガイドグループとの交流。楽しくやっています。仲間を募集中です。



## 2-9 勝山恐竜研究会

### 恐竜教室



勝山恐竜研究会では、毎年7月に勝山市立図書館と共催で「恐竜教室」を開催しています。昨年は、化石レプリカ作りと、恐竜塗り絵アート作りでした。令和8年も開催する予定ですので興味のある方は、ぜひご参加ください。

## 3-1 佛母寺御開帳

### 大師山 佛母寺 本尊延命地藏 御開帳法会

令和7年5月24日(土)～26日(月)の三日間に秘仏延命地藏菩薩の本尊を御開帳しました。

この御開帳はこれまで33年に一度おこなわれてきました。同寺は江戸・元禄年間の創建で本堂内には名高い五百羅漢等数多くの佛・菩薩像が安置されています。今回の御開帳では三日間で開基法要や稚児行列等13の奉納行事とアトラクションを実施しました。



33年前の御開帳と同様に区民総出で早くから諸準備に当たり、当日の三日間には参拝者をおもてなしの心で迎えられるように全て区民だけで担当業務に当たりました。その甲斐あって「笑顔で親切に接して下さい、うれしかった・・・。」等の声を多くいただき、それまでの苦労が報われた思いがしました。ある人が「地域は過去からの授かりもの、地域は未来への預かりもの」と言われています。時代の推移とともに人々の考え方も大きく変わりますが、先人が御開帳等を介して寺の護持に努めてこられたことに敬意を表し、新たに確かな歩みを始めていきたいと思ひます。

自然・環境部会

中秋の名月と夜空の観察会に参加して

日時 令和7年10月6日(月)  
場所 勝山市民交流センター



わくわく体験学習推進隊主催の「中秋の名月と夜空の観察会」にエコミュージアム協議会が共催という形で、メンバーとして参加させていただきました。

前半は館内での座学で星座のことや宇宙に関することまで教えていただき、途中にクイズなども織り交ぜてとても楽しく学ぶことが出来ました。星の大好きな小学生も数名参加されて和やかな雰囲気も良かったです。

後半は屋上へ上がり、座学で学んだことの説明を実際の星に当てはめて、方向や大きさや明るさや色味を感じながら再度説明してもらったのがとても良かったです。最後にはとても高性能な天体望遠鏡で土星の輪っかまで見ることが出来た本当に貴重な経験に感動しました。企画準備と説明をされた講師の方々、色々とお大変ありがとうございました。

藤井由紀夫



湧水調査報告について



令和元年(2019)湧水の調査を始めました。区長会、老人会の方々のご協力をいただき勝山市各地区の調査を行いました。集まった資料を基に現地へ見学に行き、その結果、今も生活用水として利用している所、道路や区画整備等で地形が変わっても湧水地を守っている所、まったく水が出なくなってしまった所があるとわかりました。多くの方に知っていただける機会になればと、調査報告を作成中です。勝山の隅々まで調査できたわけではなく、この数年で新たな情報も入ってきています。勝山は水が豊富なところだと改めて感じています。お近くに水が湧いている場所等お気づきの情報があればぜひお寄せください。

湧水を見に行かれるときは個人のお宅にご迷惑にならないよう、車を駐車する場合も近隣の方にご迷惑にならないようお願いいたします。

また、この調査での湧水は、自然に湧き出ているもの、流れてくるものであり、残念ながら飲用に適していないものがほとんどです。飲用される場合は煮沸消毒等を施し、自己責任でお願いいたします。

食の部会

郷土料理について

日本各地の郷土料理は、気候や風土、人々の暮らしの中から生まれてきた食文化です。寒冷地では体を温める料理が、温暖な地域では暑さに負けない工夫を凝らした料理が育まれてきました。雪国であり盆地でもある勝山市は、冬は厳しい寒さに見舞われ、夏は蒸し暑くなります。



霊峰白山の麓という自然環境の中で、里芋の煮ころろがしや厚揚げの煮物、すこ、呉汁など、身近な食材を生かした料理が日常の味として受け継がれてきました。

また、浄土真宗が盛んな地域では、かつて報恩講の際に家庭で作られていた料理もありましたが、行事の形が変わるにつれ、今では特別な場で味わう料理になりつつあります。郷土料理は、知らないうちに少しずつ遠ざかってしまうものでもあります。だからこそ、折に触れて思い出し、語り合い、味わうことが、地域の記憶を未来へつなぐ大切な一歩になるのではないのでしょうか。

食の部会 久保光子

ジオまちづくり部会

すべてが繋がりがあって楽しい町に

勝山市には、色々なサークルやグループがあります。家庭や仕事以外に多くの方が趣味や、健康に過ごすため自分に合ったグループに参加しています。しかし、非常に残念なことに自治活動すなわち町内会や婦人会、壮年会等の活動は、加盟率が低迷しており地区によっては活動停止や解散となっていたりします。なぜそうなってしまったのか？

私はこう考えます。昭和の時代は不幸にも戦争があり住民が助け合わなければ暮らしていけなかった。戦後月日が経つにつれその色が薄れていき、平成、令和と一層薄くなっていった。会長のなり手がいないからとか、忙しくてとても参加できないとか色々な理由はあると思うのですが果たしてそれで良いのかと思います。

冒頭でも書きましたが勝山にはいろいろなサークルやグループが存在しています。趣味や健康に過ごすための活動はとても必要だと思いますし、これからも続けて頂きたい。しかし自治活動の輪もとても大切な事だと思っています。色々な団体、自治会、グループが、すべてが繋がりが合って楽しい町になる。勝山市がそんな町になるようにみんなで共に頑張りましょう。

西山和彦

わけあって勝山になりました。

## 石灰焼釜跡下草刈り

4月9日(水)

堀名区長森石敬一氏の立ち合いのもと石灰焼釜跡周辺の下草や倒木の撤去を行いました。最初は倒木でふさがっていた窯跡が、姿を現し、窯の上部の穴も見ることができました。



作業中



整地後



窯上部の穴

## 壇ヶ城 編

### 壇ヶ城跡現地見学

4月12日(土)

1574年平泉寺との戦いで一向一揆勢の拠点となり嶋田将監が守ったと言われている壇ヶ城跡に登りました。郭につくと学芸員の松村英之氏から山城の構造について学びました。下山後、石灰焼釜跡に移動し、壇ヶ城語り部石倉必勝氏、北川博正氏に当時の石灰焼釜についての説明をききました。今回見学したのは宮地の小型の窯です。堀名にあった窯は、昭和37年まで使用しており、高さ10mのとっくり型だったそうです。子ども達には近づかないようにきつわれていたそうです。



## 西光寺・保田城 編

### 事前研修会

5月13日(火)

学芸員の松村英之氏をお招きし、西光寺・保田城について学びました。地域の有力者の城であったことや縄張図を見ながら山城の特徴を学びました。



### 現地見学

6月1日(日)

現地見学に行きました。当日は風も強く小雨交じりの中での開催となりました。地元の方が整備した登山道には案内看板や山城についての解説もあり、登りやすく堀切、畝状堅堀も確認できました。西光寺城のみどころは、主郭の北、東、南斜面にびっしりと構えられた畝状堅堀群だそうです。春先の雪解けの頃に登って確認したいと思いました。



平坦地(曲輪・郭)

## 食の部会

山城の話の時には、その地域にまつわる事柄を食べ物にして提供しています。

西光寺・保田城編では、鹿谷で、い草を栽培し「ござ」を生産していたことから荒鹿橋のござぼうしの擬宝珠をクッキーで表現しました。



ござぼうしクッキー



荒鹿橋のござぼうしの擬宝珠



所々に看板があります

急な上り坂